

第14回
QCサークル
チャンピオン大会で
優秀賞を頂きました！



私たちニューロードサークルは、第14回QCサークルチャンピオン大会にて「褥瘡者数の減少」を発表し、優秀賞を受賞しました。

褥瘡者を減らすためには、まずQCメンバーが中心となって職員一人ひとりの褥瘡への知識を深めるよう取り組んでいきました。専門性の高い介護提供ができるよう、積極的に他職員へ声掛けした結果、褥瘡者数が減り目標達成することができました。

QCサークルを引き継ぐにあたり、施設では様々な問題点があると思いますが、メンバーでよく話し合い、取り組むべき課題について積極的に他職員に働きかけ、より良い職場環境を作っていきたいです。そして、自分自身もQC活動を進めていく中で、スキルアップを目指し頑張っていきたいです。



ささゆり

平成29年5月
第97号
年4回発行

With all our hearts



サンライフ御立祭

日時:2017年5月20日(土)
アトラクション:姫路前山保育園 和太鼓『絆』
新入職員の出し物

バザーのメ切:5月15日まで
ご協力よろしくお願いたします。

- ささゆり会事業報告
- 法人本部
 - 二月 第十一回理事会
 - 三月 第十二回理事会
 - 三月 第十三回理事会
 - 三月 第十四回理事会
 - サンライフ御立
 - 一月 入所計画委員会
 - 二月 介護保険サービス推進会議
 - 三月 サンライフ御立彼岸法要
 - ささゆり会入社式
 - 一月 運営推進会議
 - 二月 入所計画委員会
 - 三月 運営推進会議
 - サンライフひろみね
 - 一月 消防設備点検
 - 二月 サンライフ土山
 - 三月 サンライフ御立
 - サンライフ土山
 - 二月 認知症予防教室
 - 三月 介護サポーター研修
 - サンライフ山崎
 - 三月 ささゆり会PR動画撮影
 - 三月 消防訓練
 - サンライフ西宮
 - 三月 サンライフ御立
 - 三月 防災訓練
 - 三月 デイ看板設置
 - 三月 サンライフ御立西

故 片岡 良子様のご家族様のご寄附でショートステイサンライフ御立のエアマットオスカーハイブリットタイプを2台購入させて頂きました。厚くお礼申し上げます。

編集後記

ささゆり第九十七号はいかがでしたでしょうか。今回は、今年の新入職員のご紹介やQCサークル活動等についてご紹介させていただきました。ご意見・ご感想がございましたら、お気軽にお寄せください。お待ちしております。

ご意見・ご要望ございましたらお気軽にお寄せ下さいませ。よろしくお願いいたします。

年四回発行(五月、八月、十一月、二月)

平成二十九年一月〜三月(順不同・敬称略)

三輪のぞみ会 コスモスの会 姫小町 井原教室

- ### ささゆり会 寄付・ボランティア
- サンライフ御立
- 山根知佳 小堀好記 山内順子 須見幸代
 - 畑 和寛 北村千恵子 渡邊和美 大谷博子
 - 正司義文 山口郁美 三木章代 竹川好一
 - 上田摩里子 辻本正人 伊勢田富子 塚越正和
 - 藪川幸夫 木村周子 松本伸生 竹島恭子
 - 長田周司 阪田八重子 上村元正 船曳紀子
 - 小林たき子 長田香保里 中満 幸 助川ミツ
 - フレンズ 六楽人会 二胡演奏(中西正子)
 - アニマルセラピー 安井太鼓
 - 野に咲く花 阿波踊り
 - 林田奇術クラブ うたの会(沼田輝美)
- サンライフ土山
- 溝口幾代 溝口雅子 射矢好子 二胡演奏(清水なをみ)
 - ひまわり ひだまり 野に咲く花 安井太鼓
- サンライフ田寺
- 歌(好古学園大学) 二胡演奏(清水なをみ) 千鳥会
- サンライフ住室
- 三輪のぞみ会 コスモスの会 姫小町 井原教室

総合福祉施設 社会福祉法人 ささゆり会

サンライフ御立 〒670-0072 姫路市御立東5丁目1番1号 TEL/079-291-6666 FAX/079-291-6667 施設長 笹山 博司	サンライフ魚崎 〒658-0083 神戸市東灘区魚崎中町4丁目10番50号 TEL/078-435-6688 FAX/078-435-6689 施設長 佐藤 光子
---	---

- ★Pick Up★
- ささゆり会 新入職員のご紹介
 - QCサークル活動について
 - ささゆり会「事業報告」「寄付・ボランティア」

~新しい風~

「冬来たりなば 春遠からじ」(イギリス詩人シエリーの「西風に寄せる歌」の一節)の歌は、自然現象だけでなく、社会の現象にも当てはまります。

今、介護の分野は厳しい冬の寒風にさらされていますが、必ず春を迎えるでしょう。寒風の環境では超高齢社会は乗り切れません。私たちは、迎春を促し、誰もが「この国に生まれてよかった」と思える福祉環境を急いで作り上げる役割を背負っているのではないのでしょうか。



理事長 塚口 伍喜夫

私の長所は、何事にも真面目に取り組み、辛抱強いところだと自分で思っています。逆に、そのために行動が遅くなり、迷惑をかけることもあると思いますが、笑顔を忘れず利用者様に安心していただける職員になることを目標に頑張りたいと思います。



板倉 寧々

この春から新たなスタートを切りました。分からないことも多いですが、先輩方からたくさん事を教えて頂き一日でも早く追いつけるように頑張ります。そして、笑顔忘れず一日一日成長していきたいです。ご迷惑をお掛けすることもあると思いますが、よろしくお願ひいたします。



植木 美帆

私は、介護に関しての知識があまりありません。働いていくうちに利用者様に寄り添える介護ができるよう知識や技術を学んでいきたいです。まだまだ分からないことばかりですが、どんな小さなことでもよく聞き、自分の成長に繋げていけたらと考えています。一日一日一生懸命頑張っていきます。よろしくお願ひいたします。



藤田 清奈

これからサンライフ御立で栄養士として働くに当たり、サービス十カ条にあるように、食中毒、感染症を出さないように衛生管理を徹底し、美味しい食事を出すことに努めます。また、他職種の方とも連携を取り、利用者様のより良い生活に貢献したいと思います。



塩崎 朱里

4年前祖父が老人ホームへ入所したのを機に、私は帰省する度足を運びました。そこで介護の仕事について、利用者様にとって食事が大切であり楽しみであることを学びました。この経験を糧にして他職種の方の考えを理解した上で共に利用者様へ貢献出来るよう日々励んでいきたいと思っています。



片岡 詩央里

私は大学で福祉について学んできました。現場で利用者様に知識だけでサービスをしてしまっている、良いサービスにならないと考えています。自分の持ち前である明るさを、利用者様との関わりの中で発揮し、知識だけでは捉えきれないニーズを把握し「ありがとう」と言われる職員になりたいとおもいます。



上野 史寛

私自身介護職員としてやっていけるかと不安ですが、早く現場に慣れて、介護職として、利用者様やご家族様との信頼関係をどの様に築いていくか、などを利用者様、職員の皆様から学びたいです。専門学校時代に講義や実習で、疾病や介助方法を学んできました。現場に出るのは半年振りですが、学んできた事が活かせるようにしたいです。



井上 新一

私は、仕事が身につくまで時間がかかりますが、研修以外の時間でも、先輩の職員や仕事に関わる人にも様々なアドバイスや助言をして頂きたいと思っています。自分の長所は忍耐強いところです。分からないことや質問をして迷惑をかけることが多くなりますが、精一杯頑張りたいと思います。



黒田 昂希

私は介護や福祉の事などを学べる学校に通っていなかったため、全ての事が一からのスタートで、まったく、分からない事、不安な事ばかりです。先輩職員の方々や利用者様には迷惑をかけてしまう事が多いかと思いますが、一日でも早く仕事に慣れていけるように一生懸命頑張りたいです。



植村 海那

龍野北高等学校、総合福祉科を卒業しました。サンライフ御立では、高校の介護実習でお世話になり、おむつゼロの対策など様々なことに魅力を感じ就職を希望しました。まだまだ、未熟な私ですが、多くの事を学び、成長していきたいです。私は笑顔を大切に、利用者様はじめ職員の方々とコミュニケーションをとって他職種連携をはかりたいです。ご指導を宜しくお願いします。



三木 寧々

利用者様にとっておいしい食事は生活の大きな楽しみの一つだと思います。季節感を感じられるような食事や家庭の温かさを感じられる食事を提供できるよう努めます。今まで学んできた知識を生かし、これからは現場での栄養士の知識や技術を身に付けていきたいです。



太田 優花

サンライフ御立 入社式



『一年を振り返って』
社会人になり、一年が経ちました。入社した当時は業務を覚えることに必死で、利用者様と積極的に向き合うことが出来ませんでした。先輩方がどうやって利用者様と接しているのかを聞いて、自分でイメージ実践していきました。最初はスムーズに出来ませんでしたが、ゆっくりと一つひとつのことが自分自身の力になっていくことが嬉しく感じました。二年目になり新入職員が入ってきますが、不安な気持ち一杯だと思います。まだまだ未熟ではありますが、介護技術・知識の向上と利用者様に寄り添えるようしっかりと勉強をし、介護士として手本となれるように頑張りたいです。

サンライフひろみね 小林 順子



魚崎 TOPIX

火災避難訓練

1月31日に火災避難訓練を行いました。今回の火災避難訓練では、消火器使用訓練と屋内消火栓・スプリンクラー制御弁の確認・説明も行いました。普段使用することがない消火器を実際に自分で操作したことにより、個々で消火器の使い方を再確認できました。

また、若手職員のほとんどが消火栓やスプリンクラーの制御弁がどこに設置されているのかわらなかつた為、緊急事態に備えた確認が施設全体でできた良い機会になったと思います。

今回の火災避難訓練を通して、避難経路や誘導以外に、防火設備に対する意識が上がった為、この意識を次回の訓練にもつなげていきたいと思っています。

